

## ●岡谷市のバランスシート

岡谷市がこれまでに整備した公共施設や、基金など岡谷市の資産はどのくらいか？  
施設整備などのため使われた税やこれからの負担となる借入金などの債務はどのくらいか？  
これら資産と負債の状況を表すための報告書がバランスシート（貸借対照表）です。

### バランスシートの基本事項について

(1) 対照となる会計の範囲

- ①一般会計
- ②分収造林事業特別会計
- ③霊園事業特別会計

※以上3つの会計を普通会計といえます。

(2) 作成基準

総務省の作成基準に準拠し作成しています。

(3) 対象期間

平成18年度  
平成18年4月1日から  
平成19年3月31日までの期間

※ただし出納整理期間中（平成19年5月31日まで）の現金の出入りを含みます。

(4) 資産の収集範囲

昭和44年度以降の決算統計により集計しています。

(5) 資産評価の方法

取得原価主義に基づき、昭和44年度以降の決算統計における普通建設事業費を取得価格とし、行政分野ごと（庁舎、保育所、道路、学校等）の耐用年数により減価償却しています。  
土地については、減価償却せずに取得価格により評価しています。

## 普通会計のバランスシート

(平成19年3月31日現在)

(単位：百万円)

### 「後世へ引き継ぐ市の社会資本」と「債務返済の財源」

資産の部	18年度末	17年度末	増減
1. 有形固定資産	76,538	77,990	△1,452
(1) 総務費	4,065	5,700	△1,635
(2) 民生費	4,144	4,320	△176
(3) 衛生費	2,066	2,223	△157
(4) 労働費	139	140	△1
(5) 農林水産業費	549	579	△30
(6) 商工費	4,503	3,335	1,168
(7) 土木費	39,798	40,192	△394
(8) 消防費	353	402	△49
(9) 教育費	18,401	18,604	△203
(10) その他	2,520	2,495	25
(うち土地)	24,631	24,432	199
2. 投資等	4,822	5,191	△369
(1) 投資及び出資金	455	455	0
(2) 貸付金	21	0	21
(3) 基金	4,346	4,736	△390
① 特定目的基金	3,404	3,815	△411
② 土地開発基金	714	714	0
③ 定額運用基金	228	207	21
(4) 退職手当組合積立金	0	0	0
3. 流動資産	2,697	2,969	△272
(1) 現金・預金	2,069	2,331	△262
① 財政調整基金	779	1,175	△396
② 減債基金	444	444	0
③ 歳計現金	846	712	134
(2) 未収金	628	638	△10
① 地方税	556	563	△7
② その他	72	75	△3
資産合計	84,057	86,150	△2,093

### 「後世の負担となる市の債務」

負債の部	18年度末	17年度末	増減
1. 固定負債	25,548	25,944	△396
(1) 地方債	22,908	23,868	△960
(2) 債務負担行為	0	0	0
① 物件購入等	0	0	0
② 債務保証又は損失補償	0	0	0
(3) 退職給与引当金	2,640	2,076	564
(4) その他	0	0	0
2. 流動負債	2,250	2,138	112
(1) 翌年度償還予定額	2,250	2,138	112
(2) 翌年度繰上充用金	0	0	0
負債合計	27,798	28,082	△284

### 「国・県等による施設整備支援」と「これまでの一般財源の累計」

正味資産の部	18年度末	17年度末	増減
1. 国庫支出金	8,546	8,543	3
2. 都道府県支出金	1,125	1,160	△35
3. 一般財源等	46,588	48,365	△1,777
正味資産合計	56,259	58,068	△1,809

負債・正味資産合計	84,057	86,150	△2,093
-----------	--------	--------	--------

(注) 1. マイナスについては、△表示しています。

## ●行政コスト

性質別	コストの内容	行政コスト総額	市民一人当たり行政コスト
人にかかるコスト	職員の人件費、退職給与引当金	46億1,500万円	8万5,000円
物にかかるコスト	物件費（賃金、消耗品費、光熱水費など） 維持補修費、減価償却費	58億4,400万円	10万8,000円
移転支的コスト	扶助費（生活保護法、児童福祉法等に基づくもの）、負担金、補助金、繰入金など	59億1,700万円	10万9,000円
その他のコスト	災害復旧費、公債費（地方債の利子）など	12億5,600万円	2万3,000円
合計		176億3,200万円	32万5,000円

## ●収入項目

項目	収入の内容	収入総額	市民一人当たり収入額
使用料及び手数料等	分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、諸収入など	14億7,400万円	2万7,000円
国庫・県支出金	国庫・県支出金（資産形成に資するものは除く）	13億5,100万円	2万5,000円
一般財源	市税、地方譲与税、利子割交付金、地方消費税交付金、地方特例交付金、地方交付税など	134億2,100万円	24万8,000円
合計		162億4,600万円	30万円

●行政コスト計算書（平成18年度）  
行政コスト計算書は、民間企業の損益計算書に相当するものですが、行政には利益という概念がないため、コスト（費用）と収入との関係をあらわしています。資産の形成につながる行政サービスに、どのくらいのお金を必要としたのかを知ることができます。  
行政コスト計算書には、市の職員に要する人件費や、建物などを維持していくための物にかかる費用のほか、実際に現金の支出を伴わない減価償却費なども含まれます。

## 行政コスト計算書の基本的事項について

### (1) 対照となる会計の範囲

- ①一般会計
- ②分収造林事業特別会計
- ③霊園事業特別会計
- ※以上3会計を普通会計といたします。

### (2) 作成基準

総務省の作成基準に準拠して作成しています。

### (3) 対象期間

平成18年度（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

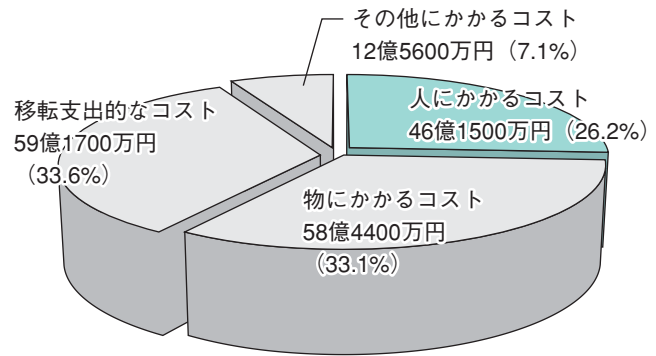
※ただし出納整理期間中（平成19年5月31日）の現金の出入りを含みます。

### (4) 資産の把握方法

昭和44年度以降の決算統計、決算書等を用いて算出しています。

## 行政コストの性質別構成比率

（コスト総額176億3,200万円）



## 普通会計キャッシュフロー計算書

項目	内 容 説 明	収支額(百万円)	市民1人当たり(千円)
行政活動によるキャッシュフロー			
収入合計	経常的に行う行政活動から発生する資金の増減を表します		
支出合計	市税、各種交付金、使用料、手数料収入など	15,137	279
差引	人件費、物件費、維持補修費、扶助費など	11,541	213
差引	差引の黒字額が小さいほど財政構造の硬直化を示します	3,596	66
投資活動によるキャッシュフロー			
収入合計	投資的な資金の増減を表します		
支出合計	資産取得の国県支出金、財産の売却、運用収入、基金繰入など	2,927	54
差引	資産取得、貸付金、投資及び出資金、基金への積立など	4,883	90
差引	不足額が地方債で賄われている場合は将来負担の増加を示します	△1,956	△36
財務活動によるキャッシュフロー			
収入合計	地方債の発行や償還など財務活動による資金の増減を表します		
支出合計	地方債の発行額	1,183	22
差引	地方債の償還額	2,689	50
差引	償還額の増加は行政活動へのしわ寄せとなります	△1,506	△28
歳計現金増加額		134	2
期首歳計現金		712	13
期末歳計現金		846	15

○キャッシュフロー計算書（平成18年度）  
 キャッシュフロー計算書は、第3の財務諸表と言われ、一  
 会計年度（年度当初から年度末まで）の資金の流れから行政  
 の活動を見るものです。歳入、歳出を行政活動、投資活動、  
 財務活動の3項目に分け、資金の調達元と資金使途を表す計  
 算書となっています。

## キャッシュフロー計算書の基本的事項について

### (1) 対照となる会計の範囲…①一般会計 ②分収造林事業特別会計 ③霊園事業特別会計

※以上3会計を普通会計といたします。

### (2) 作成基準…国を示す作成要領等がないため、独自に作成しています。

### (3) 対象期間…平成18年度 平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

※ただし出納整理期間中（平成19年5月31日まで）の現金の出入りを含みます。

### (4) 資産の把握方法…昭和44年度以降の決算統計、決算書等を用いて算出しています。

## ◇普通会計のバランスシート

バランスシートからは、市がこれまで形成してきた学校や道路などの資産の状況と、資産の整備に必要なったお金を負債としてお知らせすることができます。

昨年との比較では、資産総額で20億93百万円2.4%の減少となる840億57百万円となりました。主な要因は、18年度の減価償却費が資産取得価額を上回ったことと、特定目的基金や災害対応のため財政調整基金からの繰り入れによる基金の減によるものです。負債は27億98百万円となりました。

また、企業などで自己資本などと言われる正味資産は前年より18億9百万円、3.1%減少の562億59百万円となり、総資本に対する正味資産の割合を示す正味資産構成比率は66・9%となりました。

## ◇行政コスト計算書

市民のみなさんへの行政サービスに要したコストは、平成18年度の1年間で、総額176億32百万円となりました。このうち「移転支的コスト」が59億17百万円（33・6%）で一番多く、次いで「物にかかるコスト」が58億44百万円（33・1%）、「人にかかるコスト」が46億15百万円（26・2%）となりました。市民1人当たりでは、1年間で総額33万円を負担したことになります。なお、行政コストには実際に現金の支出を伴わない減価償却費なども含まれています。また、これら行政コストの財源となる収入は総額で162億46百万円となりました。

## ◇キャッシュフロー計算書

行政活動では約36億円の黒字となっています。投資活動は性格上マイナスとなりますが、財務活動でのマイナス分も含めて行政活動の黒字額が充てられ、それぞれの収支合計となる当年度の歳計現金増加額は1億34百万円となっています。

以上、バランスシートでは市の資産と負債の状況を、行政コストでは1年間の行政活動の結果を、キャッシュフロー計算書では1年間の資金の流れを項目別にお知らせしました。

これからも、みなさんのご理解、協力により、健全な財政の維持に努めていきます。

# 自宅や事業所の 周辺道路の雪かきに

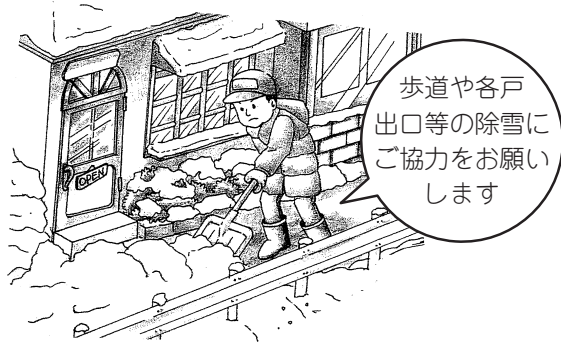
## ご協力を お願いします！

除雪・融雪の問合せ  
土木課維持担当  
(内線1321)

迷惑をおかけしますがご理解いただき、雪かきのご協力をお願いします。  
車の出入り等で、鉄板や木材などが道路に置いてある所がありますが、除雪作業の支障となりますので、取り外すようお願いいたします。

道路の除雪は、積雪15cm以上のときに、交通網確保のため行います。

市の除雪指定路線は、国道および県道への接続を基準に、交通量が多く、除雪機械が作業のできる道路を除雪します。また、作業時間は交通量が少なくなる、夜10時前後から翌朝6時を基本として、通勤、通学時間の影響が出ないよう行います。



歩道や各戸  
出口等の除雪に  
ご協力をお願いします

すべての市道を除雪することはできませんので、ご理解ください。市民のみなさんには、次のことをご承知いただき、除雪作業にご理解、ご協力をお願いします。

**次の事項にご協力ください**

⑧ 除雪路線は、除雪用重機を使用するため、道路脇に雪が寄せられます。出入りにご

迷惑をおかけしますがご理解いただき、雪かきのご協力をお願いします。

⑧ 家の事業所周辺の生活道路、歩道の雪かきにご協力ください。

⑧ 下流で川が氾濫しますので、水路や側溝には絶対に雪を入れな

⑧ 凍結してスリップ事故の原因になりますので、家の雪を道路に出さないでください。

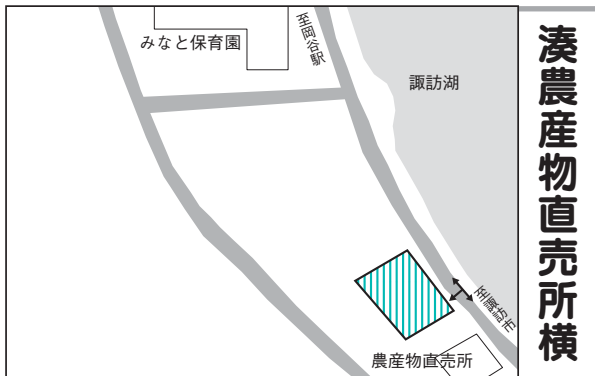
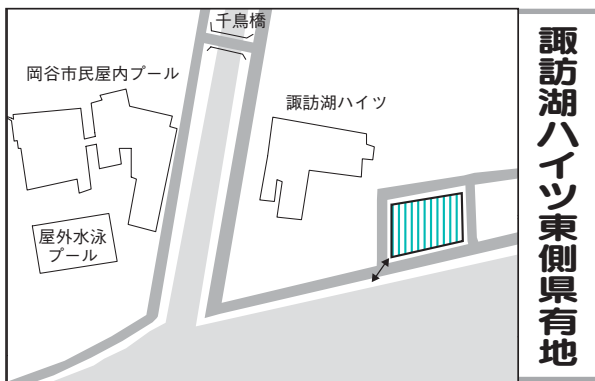
⑧ 融雪剤の散布は、凍結が予想される場合、安全走行確保のため行います。しかし、気温がマイナス15度以下の厳寒期には、再凍結によるブラックバーンが発生するため、融雪剤の散布ができません。ご承知ください。なお、融雪剤が必要な方は、各区へお申し出ください。

⑧ すべり止めの砂袋は、緊急脱出用にご利用ください。なお、1袋で約15㎡程度の散布量が入っています。

⑧ 路面状況は、気象状況や場所により急激に変化しますので、スピードを出さず安全運転に心がけましょう。

## 雪捨て場案内図

- 各雪捨て場の開設は、午前7時から午後4時30分までです。
- 雪捨ては、奥からお願いします。また、雪と一緒に、土砂やゴミを持ち込まないでください。
- 大量に雪を持ち込む場合は、土木課へ連絡をください。





# 市議会定例会を開催

第4回岡谷市議会定例会が、10月18日(木)から11月15日(木)までの29日間の会期で開かれました。この議会では、平成18年度一般会計・特別会計・企業会計の決算の認定や条例改正、平成19年度一般会計予算等の補正などが審議され、一般質問も行われました。

主な内容をお知らせします。



## ◆◆ 条例等 ◆◆

▽「政治倫理の確立のための岡谷市長の資産等の公開に関する条例」を郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律及び証券取引法等の一部を改正する法律の公布、施行に伴い、一部改正することを決めました。

▽「岡谷市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例」を市の機関等に係る申請・届出その他の手続き等について電子申請等ができる

ようにするために制定することを決めました。

▽「岡谷市手数料条例」を建築物の安全性の確保を図るための建築基準法等の一部を改正する法律等の公布、施行に伴い、一部改正することを決めました。

▽岡谷市土地開発公社定款を郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の公布、施行に伴い、一部改正することを決めました。

## ◆◆ 補正予算 ◆◆

▽平成19年度一般会計で、災害対策事業費、学校整備事業費、市民体育館管理費等3100万3千円を追加して、総額186億4671万5千円とすることを決めました。

▽平成19年度岡谷市国民健康保険事業特別会計、岡谷市下水道事業会計の補正予算をそれぞれ決めました。

## ◆◆ 決算 ◆◆

▽平成18年度岡谷市一般会計、岡谷市国民健康保険事業特別

会計など8会計及び岡谷市病院事業会計、岡谷市水道事業会計、岡谷市下水道事業会計の各企業会計は、決算特別委員会を設置して審議し、11月15日の本会議で決算認定しました。

## ◆◆ 一般質問 ◆◆

▽15人の議員がまちづくり、福祉、教育、環境など市政全般にわたり活発な議論を交わしました。

## ◆◆ 意見書 ◆◆

▽「非核日本宣言を求める意見書」「私立高校への公費助成に関する意見書」「公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書」を可決し、国会および関係行政庁へ提出することを決めました。

◇市議会の会議録は、岡谷市議会ホームページからご覧いただけます